

産廃処理の総合専門誌いんだすと

INDUST

2022 JULY
NO.417

7

特集

作業時の 熱中症・臭気対策

連載

＜環境政策ウォッチ＞
熱海・土石流災害受け「盛土規制法」成立
— 詳細検討に着手も、課題は山積 —

電子版も好評配信中!

電子版いんだすとには
さまざまなメリットがあります。(目次に詳述)

産の脱炭素化、オールコセイは昆虫養殖・加工・販売、齋藤精機は昆虫生産設備の開発、東京農業大学バイオリボティクス研究室は昆虫日本農業の研究・教育となっている。

**新会長に亀井産業の
亀井寿行を選任**
— 埼玉県環境産業振興協会 —

埼玉県環境産業振興協会は5月24日、さいたま市のロイヤルマインズホテルで第10回総会を開催、役員任期満了により第4代新会長に亀井寿行（亀井産業代表取締役）氏を選任した。亀井氏は協会に山積する課題について、「副会長はじめ、会員企業の皆様のご協力を賜り、協会のますますの発展、産業廃棄物業界の発展に尽力して参る所存だ」とした。

議事は諸議案を了承、2022年度は労働災害防止対策、災害廃棄物処理支援体制の強化など6点の重点項目を挙げている。

なお、当日は令和4年度埼玉県産業廃棄物関係環境衛生功労者等表彰と同年度一般社団法人埼玉県環境産業振興協会表彰の表彰式が行われ、功労者表彰は友野浄二氏（トモノ）が、優良事業所には明和土木興業が受賞するなど、計21人、1企業が表彰を受けた。

**スマホで簡単、コンテナ管理システム
「産廃コンテナbee」を開発**
— エスエムエス —

一般廃棄物および産業廃棄物の収集運搬・リサイクルなどの業務に特化した統合型廃棄物業務用ソフトの開発・提案を行っているエスエムエスは、産廃物のコンテナをQRコード1つで簡単に管理できるシステム「産廃コンテナbee」（以下bee）を開発した。工事現場等で設置・引上げるコン

テナやフレコンバックに、beeで発注・発行したQRコードシールを貼付してコンテナの状況を把握するシステムで、手間のかかっていたコンテナ管理がbeeの管理画面から一括して簡単に行える。

設置時や回収時にはコンテナ回収業者が、コンテナの交換や回収依頼の時には現場担当者（排出事業者）が、それぞれスマートフォンでQRコードを読み取るという手軽な操作で情報の送信が行えるのが最大の特徴。交換・回収依頼の連絡が自由な時間に簡単に行えるため、現場作業（排出事業者）にとっても利便性が高い。スマホから送られた回収依頼データをコンテナ回収業者はbeeで確認できるほか、メールで受け取ることも可能。回収時にQRコードを読み取ることで回収データの作成が完了し、beeの貸出データ一覧表に保存される。

beeのQRコードはコンテナの位置情報の管理も行え、「いま、どこに、どんな種類のコンテナが何台設置され、設置日数がどれだけ経過しているのか」などをスマートフォンの地図アプリで見られる。さらに地図画面から設置場所までの経緯を確認、ナビを利用することもできる。

使用料は月額基本料金1万1000円（税込）。設置件数50件までは基本料金に含まれ、それ以上は1件追加ごとに220円（税込）。200件以上は別プラン各種あり。QRコードシール発行費別。最大2カ月無料で試用も可能。

コンテナ回収業務をカンタンに!

産廃コンテナbee



産廃物のコンテナをQRコード1つで簡単に管理できるシステム「産廃コンテナbee」